

平成27年司法試験 合格体験記

平成25年度修了（既修コース）川村 浩樹

1, 自己紹介

9期既修の川村浩樹と申します。本年度、2回目の受験で司法試験に合格することができました。私の経験を踏まえて、後輩の皆さんに若干のアドバイスをさせて頂きたいと思います。

2, 択一について

平成27年度から短答が3科目になったことから、短答のみに特化した対策は、今後は効率が悪いと考え、あえて短答に力を入れることはせず、論文の勉強の合間に、こまめに択一六法を引いて条文をチェックするなど、論文の時間が削られないように努めました。短答の成績も350番台と悪くなかったため、今年に関してはこれでよかったのかと思います。

もっとも、択一で足りるにあうと絶対に合格できないので、不安な人はやはり十分に対策しておくことをおすすめします。岡山大学法科大学院では、年に3回程度択一の全国模試を受験する機会があり、また、普段の授業でも頻繁に択一の小テスト等が行われるので、これらの機会を利用して、効率よく択一对策を行うことができます。

3, 論文について

論文が苦手だという方は、とにかく論文をたくさん書くことを心掛けてください。もちろん、書けばよいというものではありませんが、とにかく書かないことには始まらない、そういう一面があるのだと思います。私は、1度目の受験の時、論文を書く苦しさにかけてしまい、いろいろ理由をつけて書かなかったため、不合格となってしまいました。特に、過去問の研究を怠っていたのは、大きなハンデになってしまったと思います。

岡山大学法科大学院では、少人数の法科大学院という特色を生かし、生徒と先生方の距離が非常に近いのが特徴です。そのため、先生方に論文の作成方法を聞くのも容易ですし、自分が苦手意識を持っている科目について、自由にゼミなどを依頼して、演習量を増やすことも可能です。全国でも群を抜く未修者の合格率は、いかに効率の良い指導が行われているかということの証拠といえます。

4, 最後に

どのような素晴らしい環境を与えられても、結局は勉強をするのは自分だということを忘れないでください。どんなに優れた教授も、皆さんを合格させることはできません。

皆さんが、岡山大学法科大学院という、素晴らしい環境を利用し、自らの手で合格の栄冠を勝ち取り、社会に貢献できる法曹となることを願っています。